

コロンビア政治外交情勢（2025年11月）

1 概要

【内政】

- (1) 違法武装勢力の拡大に関する国家情報局報告書
- (2) ベネデッティ内務大臣に対する家宅捜索
- (3) コカ栽培及びコカイン生産に関する国連報告書
- (4) 和平特別法廷による元軍人の起訴
- (5) 国軍関係者と違法武装勢力の内通に関する報道
- (6) 全国選挙管理委員会によるペトロ選挙陣営への制裁
- (7) 世論調査

【外交】

- (1) ペトロ大統領の中東訪問
- (2) 第4回 CELAC-EU 首脳会合
- (3) 米国ホワイトハウスに対するペトロ大統領の反発
- (4) コロンビア外務省と国際移住機関の協力覚書署名
- (5) ビジャビセンシオ外務大臣によるスペイン訪問
- (6) ビジャビセンシオ外務大臣によるイベロアメリカ外相会合出席
- (7) ビジャビセンシオ外務大臣によるバチカン訪問
- (8) ビジャビセンシオ外務大臣によるスペイン・ビルバオ訪問

2 本文

【内政】

- (1) 違法武装勢力の拡大に関する国家情報局報告書

3日、国家情報局が違法武装勢力に関する報告書を公表したが、同報告書によれば、今年の1月～8月の間に違法武装勢力に属する戦闘員が約3300人増加した結果、国内戦闘員数合計が2万5千人を超えることとなった。なお、主要な増加エリアはアンティオキア県、コルドバ県、チョコ県、スクレ県、ラ・グアヒラ県、セサル県。

- (2) ベネデッティ内務大臣に対する家宅捜索

11日、検察は不正利得罪の疑いでベネデッティ内務大臣に対する家宅捜索を行ったが、これに対し同大臣は政治的な措置であるとして反発した。なお、ベネデッティ大臣は、過去の汚職疑惑等で司法に直面しており、ボゴタ市内に所有する高級マンションが不正利得により購入されたとの疑惑がかけられている。

（3）コカ栽培及びコカイン生産に関する国連報告書

17日、スペインのエル・ペイス紙は、国連薬物犯罪事務所（UNODC）がコロンビアのコカ栽培面積について、2023年の25万3千ヘクタールから2024年末に26万1千ヘクタールへ拡大したと結論づける報告書を準備していると報じた。また、コカインの生産量についても2023年の2664トンから2024年に3000トンへと拡大した由。

（4）和平特別法廷による元軍人の起訴

20日、和平特別法廷（JEP）は、2002年から2007年にかけメタ県で209件の戦果偽装殺人殺害を行ったとして、戦争犯罪、人道に対する罪等で30名の元軍人を起訴した。

（5）国軍関係者と違法武装勢力の内通に関する報道

24日、当地カラコル・ニュースは、検察が押収した情報データを分析した結果、国軍のファン・ウエルタス将官等とEMCカラルカ派が内通していたと報じた。これに対し、ペトロ大統領はこの報道が虚偽で政治的な迫害であると反発した。

（6）全国選挙管理委員会によるペトロ選挙陣営への制裁

27日、全国選挙管理委員会（CNE）は、2022年ペトロ大統領選挙キャンペーン不正資金疑惑を認定し、関係した政党及び選対幹部に対し罰金を課した。これに対し、ペトロ大統領は、この決定を政治的な迫害と批判するとともに、違法な選挙資金調達を否定した。

（7）世論調査

11月末に行われたインバメル社の世論調査によれば、2026年大統領選挙に向けた各候補の支持率は、イバン・セペダ上院議員（左派）31.9%、アベラルド・デラエスピリエジャ氏（右派）18.2%、セルヒオ・ファハルド元アンティオキア県知事（中道）8.5%であった。また、ペトロ大統領の支持率が37.7%、不支持率が56.7%であった。

【外交】

（1）ペトロ大統領の中東訪問

1日、ペトロ大統領はエジプトを訪問し、エジプト赤新月社本部を訪れたほか、アッバス・パレスチナ自治政府大統領とガザ情勢等に関する会談を行った。また、3日にはカタールを訪問し、タミーム・ビン・ハマド・アタニ首長と会談を行い、ガザ情勢やコロンビア和平等について協議した。

（2）第4回 CELAC-EU 首脳会合

9日及び10日、サンタマルタにおいて第4回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体

(CELAC) 一欧洲連合 (EU) 首脳会合が開催された。9日の協議後、ニカラグアとベネズエラを除く31の代表団が、気候変動対策、エネルギー移行、公正な貿易と投資の促進等を謳ったサンタマルタ宣言に署名した。

(3) 米国ホワイトハウスに対するペトロ大統領の反発

9日、米国ホワイトハウスは、ペトロ大統領がオレンジ色の囚人服を着ているAI作成画像をホームページ上に掲載したが、その後同画像を削除した。これに対し、ペトロ大統領及びビジャビセンシオ外務大臣は、米国によるコロンビアへの侮辱であるとして画像の掲載等に反発した。

(4) コロンビア外務省と国際移住機関の協力覚書署名

12日、ビジャビセンシオ外務大臣とフェルナンド・メディナ国際移住機関 (IOM) コロンビア代表は、移民政策、移民の帰還と人道支援、多国間メカニズムへの参加等を謳った協力覚書に署名した。

(5) ビジャビセンシオ外務大臣によるスペイン訪問

18日、ビジャビセンシオ外務大臣はスペインを訪問し、ホセ・アルバレス外務大臣と外相会談を行った。会談後には両国共同宣言を採択されたほか、和平、ジェンダー平等、包括的な開発協力等に関するコロンビア国内プロジェクトに対する支出等の合意が結ばれた。

(6) ビジャビセンシオ外務大臣によるイベロアメリカ外相会合出席

2026年にスペインで開催予定の第30回イベロアメリカ首脳会議に向け、24日、第2回イベロアメリカ外相会議がオンラインで開催され、ビジャビセンシオ外務大臣が出席した。同大臣は、コロンビアがイベロアメリカ首脳会談に向け包括的で現代的な協力関係を推進する姿勢を表明した。

(7) ビジャビセンシオ外務大臣によるバチカン訪問

26日、ビジャビセンシオ外務大臣は、パロリン・バチカン国務長官とともにサン・ピエトロ大聖堂で行われた典礼式典に参加し、コロンビアとバチカンの外交関係樹立190周年を祝った。また、翌27日には、ク・ドンユ国連食糧農業機関 (FAO) 事務局長と会談を行った。

(8) ビジャビセンシオ外務大臣によるスペイン・ビルバオ訪問

28日、ビジャビセンシオ外務大臣はスペインのビルバオを訪問し、在ビルバオ・コロンビア総領事館の開会式典に参加した。

